

# ま ち の 話 題

## 豊岡

中嶋神社菓子祭

### お菓子の起源歌で紹介

4月15日、全国の菓子業者に崇敬されるお菓子の神様「田道間守命」を祭る中嶋神社三宅で、菓子祭が開催されました。

当日は、神事のおと、神美小学校の児童129人が、垂仁天皇の命を受けた田道間守命が常世の国から不老長寿の妙薬とされる橘の実である「非時香菓」を持ち帰ったことを伝える歌などを披露しました。指揮をした6年の平野倫子さんは、「失敗しなくてよかった。地元で伝わる歌を大切にしたい」と話していました。

また、いろいろなお菓子が当たるくじ引きや、野点、もちまきが行われ、たくさんのお菓子が立ち並びにぎわいました。



歌と演奏を披露する神美小学校の児童たち。会場に集まった人たちはしばし聞き入っていた

## 城崎

城崎文芸館開館10周年記念ピアノ演奏会

### 美しい調べにつつと

3月27日、城崎文芸館で、開館10周年記念と市民から寄贈されたグランドピアノのお披露目を兼ねて、ピアノ演奏会が行われました。当日は、市外から招待された2人のピアニストと胡弓奏者が美しい調べを披露するとともに、地元市民も箏や尺八の演奏などを披露し、市民や観光客などがすばらしいひと時を過ごしていました。また、玄関前では、観光協会の会員が露店を出し、イベントを盛り上げていました。

同館館長の飯田敏之さんは「今後も住民の協力のもと文芸館の活動を盛り上げ、城崎温泉の活性化につなげていきたいと思えます」と話していました。



美しい調べに包まれた城崎文芸館。同館にはこれまで約27万人が訪れている

## 竹野

猫崎灯台をめぐる旅

### 大海原に浮かぶ 白い灯台

4月1日、兵庫県の最北端に位置する「猫崎半島」の先端にある灯台までのハイキングが行われ、市内外から10人が参加しました。

竹野北前館から灯台までの道のりは往復約4キロで、途中、力士の碑や柴野栗山の碑など北前船ゆかりの遺産を見学し、賀嶋山の尾根伝いの断崖絶壁では足をすくませながら歩きました。

参加者の花房弘史さん(竹野町竹野)は、「原生林の中を歩いていると子どもたちの記憶が蘇り、白い灯台と青い大海原が見えたときは感激しました」と話していました。

なお、猫崎灯台をめぐる旅は6月30日まで開催されています。(詳しくは市広報3月25日号をご覧ください)



兵庫県の最北端に位置する猫崎半島の灯台に到着した参加者たち

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係までご連絡ください。



訪れた人たちは満開の桜のもとでゆったりとした時間を過ごした

## 日高

第4回桜つづみ観桜会 かんおうえ

### 幻想的な灯に心も和む

4月7日、桜に囲まれて楽しいひと時を過ごす桜つづみ観桜会が、国府ふれあい公園と日高東部健康福祉センターで開催されました。当日は、山菜おこわ、マロニエうどんなどのバザー、お茶会、歌会、琴・尺八演奏会、春の寄せ植え講習などが行われ、中でも初企画の足湯は、神鍋温泉のお湯を使い、子どもたちの人気を集めました。

また、夕暮れからは国府ふれあい公園の満開の桜がライトアップされ、堤の随所に置いた行灯の灯が幻想的な空間を創り出し、訪れた人たちは地域の方々の温かいもてなしと春の宵のひと時を楽しんでいました。

4月15日、出石総合支所前の大手前広場で「第37回そば喰い大会」主催：但馬國出石観光協会）が開催されました。毎年開催されるこの催しは、制限時間内に、出石名物の皿そばを食べる枚数を競うもので、夫婦と子ども1人の親子でリレーする、家庭円満戦、3人1組の団体戦、個人戦の3種目があり、県内外から約280人が参加しました。参加者は、「かむな、休むな、味わうな」のかけ声の中、制限時間とにらめっこしながら用意された10、743枚の皿そばを次々に平らげていきました。なお、個人戦では、埼玉県から観光で訪れた山本尚久さんが139皿を食べて優勝しました。

## 出石

第37回そば喰い大会

### 早く早く！制限時間とにらめっこ



家庭円満戦では、つゆ足しや飲み物の準備など、家族の連携プレーで盛り上がった



10万本のチューリップで描いた人気の「コウノトリ」をバックに記念写真を撮る来場者

## 但東

2007たんとうチューリップまつり

### チューリップ畑にコウノトリ舞い降りる

豊岡に春を告げるイベント「2007たんとうチューリップまつり」が、4月13日から24日までの12日間にわたって但東町畑山で開催され、多くの方が訪れました。

会場には、100万本の色とりどりのチューリップが咲きそるい、人気のフラワーアート図柄では、3羽の「コウノトリ」が、5色のチューリップ計10万本で縦70メートル、横30メートルのジャンボ花壇に浮かび上がりました。但馬産ヒノキの間伐材で組んだ高さ約4.5メートルの展望台からは見晴らしもよく、多くの方が上がり、コウノトリをバックに記念写真を撮るなど、にぎわっていました。